

シアトル別院時報

27巻 10月号

2008年度教化標語

世の中安穏なれ

仏さまは 何処に

善導大師の説く「二河白道の比喩」

シアトル別院輪番・松林芳秀



「仏さまは？」と問いかける讃佛歌があります。そして、その答えが歌われるのです。

仏さまは 何処に 何処に
いらっしゃる？

春は 花咲く 枝のもと、
夏は 水辺の 草のかげ、
秋は 空行く 雲の上、
冬は 窓打つ 雪の中、

何時も 何処かで 見ていて 下さる

何時も 何かを 教えて 下さる

仏さまは、 あれあれ あそこに
いらっしゃる

この讃佛歌のように、何時でも（無量寿）、何処でも（無量光）いらっしゃる阿彌陀仏を素直に喜ぶことが出来れば、私達の宗教心、眞実をいただく心が素晴らしいと云えます。でも、現実には私達は中々素直に仏さまをいただくことが出来ないので、それは私達が煩惱に眼さえられた凡夫であるからです。

眞実の仏さまを素直にいただくことの出来ない私達が、仏さまに目覚めていく姿を、善導大師は『観經疏』の中で、「二河白道の比喩」として巧みに説いて下さいました。その比喩は、

一人の旅人が荒涼たる砂漠を西に向かって百千里の旅をしている。突然、そこに二つの河が現れる。南側に火の河があり、北側には水の河がある。この二つの河は各々広さは百歩ほどあり、深くて底が知れない河で、南北に果てしなく続いている。その

火と水の河の間には幅4～5インチの白い道があって、東の岸よ

り西の岸まで百歩の距離がある。水の河からは波が常に押し寄せて道を覆い、又、火の河からは炎が燃えさかり道を焼いている。この様に白い道は、水と火がお互いに押しよせて止まることがなかった。

この旅人は、何も持たずに広大な荒野に来ており、助けを求める人すら誰もいない。沢山の群賊や悪獣はこの旅人が一人であることを幸いに、襲いかかって殺そうとしている。旅人は恐れて西に向かって走り出そうとすると、突然この荒れ狂う火の河、水の河を見て思った。これらの河は南北に果てしなく続いている。その間に一つの白い道があるが、それは極めて狭い。どうして向こう岸まで行ったらいいのだろうか。自分は今日きっとここで死んでしまうだろう。後帰りすれば群賊や悪獣に攻められる。南か、北に向かって走って行けば悪獣、毒虫が襲いか

10月の予定

5日 家族法要、初参り
花田ジューリー先生
日本語法要

12日 家族法要 日本語法要

19日 家族法要 日本語法要なし

26日 家族法要 日本語法要
海野徹雄先生

SBWA 先亡者追悼法要 1時

かってくる。そこで、西に向かってこの細い白道をたどって行けば、おそらく火と水の二つの河に巻き込まれてしまうであろうと。

この様に、旅人は、往くも還るも止まるも死を免れえない、例えようのない恐怖に襲われました。そこでこの旅人は静かに考えました。もし、いずれにしても死を免れる道がないのなら、自分はこの白い道を進んで行こう。現にこの道があるのだから、必ず向こう岸に辿り着くことが出来るであろうと。こう思った時に、たちまち、東の岸から人（釈尊）が勧め、教える声がした。

‘汝、決心してこの道を尋ねて行け、必ず死の難から逃れることが出来るであろう。

もし、このまま留まれば死ぬであろう’ と。

又、西の岸の方から人（阿弥陀仏）の喚び声が聞こえた。

‘汝、一心に正念にして直ちに來なさい。必ず汝を護ってあげよう。水と火の難を恐れるな!’ と。

この旅人は、東の岸の釈尊の勧告（教え）を聞き、そして西の岸からの阿弥陀仏の喚び声（本願の招喚）も聞いて、正しい

思いのもとに白い道を進んで行くことを決心しました。しかし、一、二歩進んだ時、東の岸の群賊達は、‘旅人よ、帰って来い！その道は危険だから進んで行くことは出来ない。必ず死んでしまう。我等はみんな悪者ではない’ と叫んだ。

この旅人はその叫びを聞きましたが、もはやためらう事なく、正しい思いで細い白い道を進んで行きました。しばらくして、無事に西の岸にたどり着く事が出来、そこで善き友達に会い、末永く心安らかに楽しく過ごしましたと。

この比喻で説く東岸というのは生死輪廻の私達の世界で、西岸というのは仏さまの悟りの世界である極楽浄土です。火の河は私達の瞋恚（怒り憎む煩惱）、水の河は私達の貪愛（貪りや執着の煩惱）、群賊や悪獣というのは悪友に交わって真の善知識に会わない事であり、白い道というのは阿弥陀仏のご本願に目覚めて歩むお念仏の道です。

仏さまに目覚め、仏さまのみ教えに遇って、お念仏の白道を歩む事の難しさがこの比喻に巧みに説かれているのです。「仏さまは何処に、何処にいらっしゃる?・・・」と今日も讚仏歌を歌い、お念仏を称えながら白道を歩む私です。合掌

104 無常

沼田智秀著「生かされて」百八つのころより。

“この世に生まれ出たものはいつかは必ず死に、創られたものもやがては滅びる”というのがこの世の真実であり、それを文学的に表現したものとして、

「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。」（「平安物語」）

「ゆく河のながれはたえずして、しかもとの水にあらず。」（「方丈記」）

といった文章で残っているために、日本人にとって、この“無常”という思想は、きわめて身近なものとなっているようである。ところが、忘れてならないことは、この“無常”という思想を、単にこの世の否定的な面ばかりでとらえてはいけない、ということなのである。

確かに、無常だからこそ死んだり滅んだりするのはあるが、

同時に、無常だからこそ成長したり発展したり進歩したり、といった現象もあるのだから、こちらの面も見つめてゆく必要があるのである。

仏教思想の特徴をまとめたものに、“三法印”というものがあるが、その中の第一番目こそが“諸行無常印”であり、その意味は、「この世のあらゆる存在と現象とは、常に変化しているのである。」ということなのだ。



別院婦人会百周年

まづシアトル別院婦人会の皆様に創立百周年を迎えられた事を心からお慶び申し上げます。

九月二十日に小杭好臣北米佛教団総長、小杭夫人及びに谷口先生をお招きしてメープルウッド・グリーンで昼食会を催された事は別院婦人会の輝かしい歴史の中でも特筆すべき行事だったことでしょう。

北米佛教団の佛教婦人会はどのお寺でもその中核として、多面での支援・支持の活動を続けなくてはならぬ団体なのです。婦人会の皆様は真の奉仕という事を、念仏の道を歩かれて培われたお力によって我々にお示し下さっています。「念仏と共に百年」という標題はまさにそれを表しています。多くの団体がつくられそして消えてゆくなかに、シアトル佛教婦人会は多くの苦難に耐えそれを乗り越えて今でも毅然としてシアトル別院のためにその活動を続けていますことただ頭の下がる思いです。

**ダーマスクール**

9月6日、5人のダーマスクール先生たちがポートランド主催のNW ディストリック DS ウォークショップに参加した。「教え方の方法」について学んだ。BCAのカリキュラム、いかに生徒に参加さすか、クラスのマネージの仕方、ゲーム・クラフト、レッスンプランなど盛り沢

ABA ニュース

ABAではメンバーを募集中です。10月よりメンバー募集運動を開始します。なお、11月2日にはハワイアンブラックファーストのファンレイズがあります。大人\$10、12歳以下\$5.8時から9時半まで。これはモンゴリア援助に使われます。皆様のご支援をお願いいたします。また、ブラックファーストを手伝ってくださる方も募集中ですのでよろしくお願いいたします。チケットは10月よりセールします。

会員部より

英語面に会費を納められた方々のお名前があります。本年度もよろしくお願い致します。

シアトル佛教婦人会おめでとうございます！有難う御座います。今後とも宜しくご支援とご指導のほど宜しくお願い致します。

「批評と計画」についてのお知らせ

別院理事会では今までに宗教部、会員部、維持部によるその活動内容と将来への指針などの発表がなされました。それに対し理事達は批評と共に我々の将来の為への種々な提案を出しました。この方法で我々のお寺の長所及び短所が示されてきました。同時に多くの質問・疑問点があがり、それへの答えを求められています。答えをすぐ出せない問題もあります。

これからもお寺の為、会員皆様の為に色々な面での変化や改善をしなければならないと思われま。しかし理事会がその様な事を決議する場合には、会員皆様との対話などで意見の交換の場を設けてお寺の将来への道を共に歩みたいと願っています。

山の授業だった。シアトルのDS教師たちは教育関係の仕事についてないボランティアなのでこういう機会は大変役にたった。参加者：マイケル青木クレマー、ジョーン中野、スージー竹田、ジュリアンとさや、カリアン横山。

会員 70 才以上は\$250、70 才以下は\$300 です。



時報がウェブでご覧になれます！！

別院のウェブサイト www.seattlebetsuin.com 内に newsletter のセクションがありますそこをクリックして下さい。時報郵送を減らす努力は続けられております。今までに 150 人以上の方々がウェブ時報に変更されました。郵送費、コピーの手間、紙代などをご考慮のうえご協力下さいますように重ねてお願いいたします。

婦人会便り

- 寄付感謝録

一般寄付は英文寄附欄をご参照下さい。

- 活動部

近ずいて来る贈り物シーズンを控えての手芸教室

10月15日 教師：時田リイリイ、平井ケイ、馬場ジャネット

時間：午前9時30分-正午 制限数：12名

材料費：\$7.00 持参品：鋏、家族、自分自身、ペット等の写真

参加希望者は原田セツ又は清水ダーリン宛て別院事務所

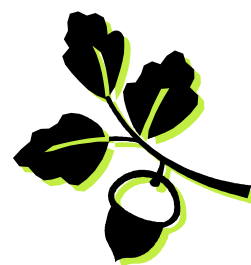
(206-323-0800) を通してご連絡下さい。

- 10月予定行事

5日 SBWA 理事会議、初参り

11日 BCA 仏婦連盟代表者会議 (Oakland, CA)

26日 SBWA 先亡者追悼法要 (海野徹雄開教使)



通信書記 (日)

清水和美

10月は神無月といわれますが、語源のひとつは「雷なし月」の意味で神祭りの月、全国各地の神様が出雲大社に集まって不在になるためという。10月は日本で行事の多い月で1日衣替え、8日体育の日、などから2日豆腐の日、13日さつまいもの日まであります。共同募金運動は赤い羽根運動でも記憶されておられるでしょうが、毎年10月1日から12月31日までおこなわれます。今年60年目を迎えこれまでに7500億円の寄付があつまりました。基金は主にその地域の福祉に使われ、老人、障害者、子供、一人親福祉に活用されます。

日本語版のイーメール・アドレス Newsletter-jpn@seattlebetsuin.com

シアトル別院時報日本語面翻訳・編集 和田真知子

